



各部の名称

装備の使いかた

点検整備について

万一の場合には

資料

Freed

サイドリフトアップシート車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



危険

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいことや、安全のために守っていただきたいこと。

(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、安全のためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なこと。

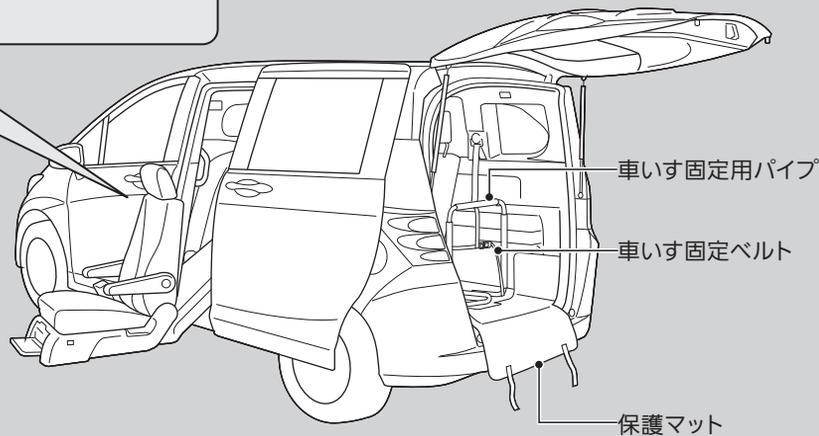
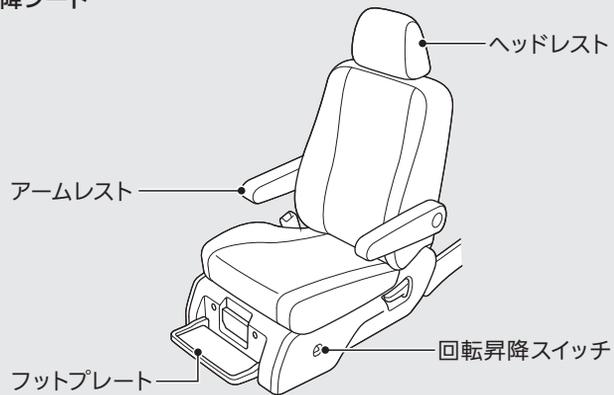
目次

各部の名称.....	2	万一の場合には.....	19
装備の使いかた.....	3	工具の種類.....	19
回転昇降シートの動かしかた.....	3	シートが回転、昇降できないとき.....	20
シートへの乗り降り.....	5	シートが正常に作動しないとき.....	22
シートベルト.....	10	資料.....	31
チャイルドシート固定装置.....	10	仕様.....	31
車いすの収納のしかた.....	11	収納可能な車いすのサイズ.....	32
点検整備について.....	17		
回転昇降シートの点検.....	17		

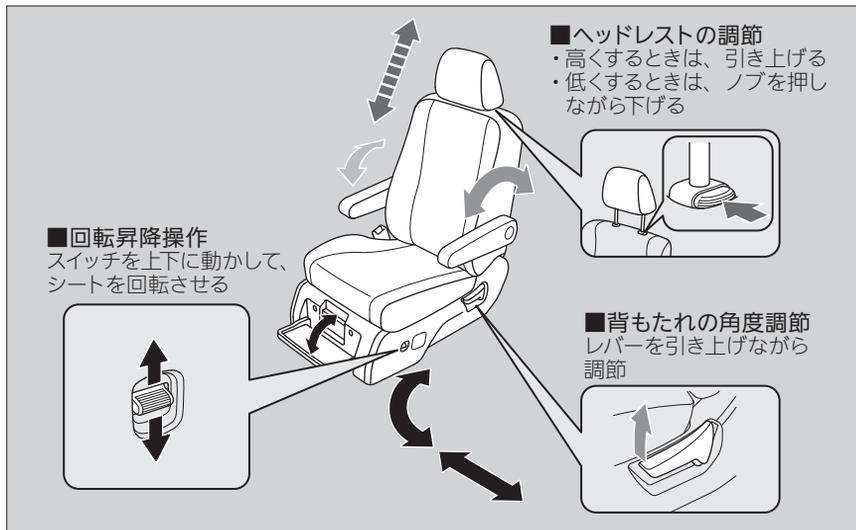
各部の名称

各部の名称

回転昇降シート



回転昇降シートの動かしかた



■回転昇降シートの動かしかた

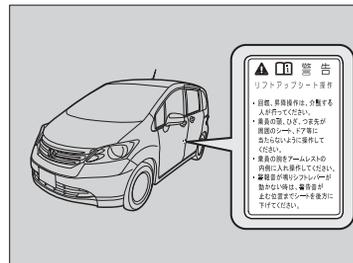


警告

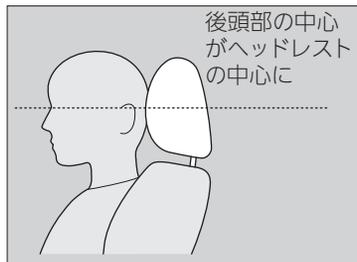
回転昇降シート操作時は、下記のことを守る。

シートの操作を誤ると、重大な障害をうけるおそれがあります。

- シート操作前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認する
- 回転、昇降操作は介護するかたが行い、手、足、頭などをはさんだりぶつけないように十分注意する
- お子さまには操作させない
- リヤシートにお子さまをのせているときは、不意の動作に注意する



■ 回転昇降シートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

☒ 回転昇降シートヘッドレストの調節



警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。

ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートへの乗り降り

セレクトレバーが[P]のときに行えます。
 パーキングブレーキをかけ、助手席側パワースライドドアをいっばいに開けてから、
 回転昇降シートに付いている回転昇降スイッチで操作します。
 平坦な場所で周囲の安全を確認して行ってください。

■シートへの乗り降り

注意

助手席側パワースライドドアを全開にしてから回転、昇降操作をする。

助手席側パワースライドドアとシート、車体の間にはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

介護される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めない。

手をはさんでけがをするおそれがあります。

アドバイス

回転昇降シートの最大回転昇降能力は100kgまでです。

これを超えての回転昇降操作は、破損の原因となります。

知識

回転昇降シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、助手席側パワースライドドアを自動で閉めることはできません。

助手席側パワースライドドアが全開になっていないと、回転昇降シートは作動しません。

回転、昇降中にアームレストを倒しておいても、背もたれの角度によってはアームレストが車体に接触することがありますが異常ではありません。

回転昇降シートの上げかた

1. フロントシート（助手席）を前方いっぱいに動かす。
 - ▶ フロントシートの調節の詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。
2. フットプレートを前に倒す。
3. 背もたれの角度を調節する。
4. 車いすなどから乗り換え、アームレストを前に倒す。
 - ▶ 座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認します。

☒ シートへの乗り降り

⚠ 注意

シートを使用しない。

次の場合は、ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- シートが走行位置（格納位置）に戻らないとき
- シートを走行位置（格納位置）に戻しても「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるとき

知識

シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、セレクトレバーを操作できません。故障などにより、シートが走行位置（格納位置）に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

☒ FREED 取扱説明書



5. 回転昇降スイッチを上を引き続ける。
- ▶ 「ピー」とブザーが鳴り、シートが車内側へ上昇します。
 - ▶ 上昇が終了するとスライドしながら回転して走行位置（格納位置）に戻ります。
 - ▶ 途中でスイッチから手を離せば、その場で停止します。
 - ▶ シートが走行位置（格納位置）に戻ると、「ピピッ」とブザーが鳴り、停止します。

■シートへの乗り降り

回転昇降シートが上昇している途中で、誤って助手席側パワースライドドアのハンドルを操作し、ストッパーが外れてスライドドアが閉方向へ動いてしまうと「ピーピーピー」とブザーが鳴り、シートの作動は停止します。

パワースライドドアメインスイッチがONのとき

- 助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを開方向へ操作すると自動的に開くことができます。運転席スイッチでも操作できます。

パワースライドドアメインスイッチがOFFのとき

- 助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引くか、内側ドアハンドルを開方向へ操作して手で開きます。

■FREED取扱説明書

アドバイス

走行中はフットプレートに足を乗せない。

必要以上の体重がかかり、フットプレートが破損するおそれがあります。

回転昇降シートの降ろしかた



1. フロントシート（助手席）を前方いっぱい
に動かす。
▶ フロントシートの調節の詳細は、FREED
取扱説明書をご覧ください。
2. シートベルトが外してあることを確認する。
3. 背もたれの角度を調節する。
4. アームレストを前に倒す。
▶ 座っている人の体がアームレストの内側
にあることを確認します。
5. フットプレートを前に倒して足を乗せる。

☒ シートへの乗り降り

アドバイス

フットプレートに体重をかけたり、ステップの
かわりにしないでください。

フットプレートが破損するおそれがあります。

知識

背もたれが倒れすぎていると、右側のリヤシート
と干渉してシートの回転ができなくなります。

回転昇降シートが下降している途中で、誤って助
手席側パワーライドドアのハンドルを操作し、
ストッパーが外れてスライドドアが閉方向に動い
てしまうと「ピーピーピー」とブザーが鳴り、シー
トの作動は停止します。

パワーライドドアメインスイッチがONのとき

- 助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引
くか、内側ドアハンドルを開方向へ操作すると
自動的に開くことができます。運転席スイッチ
でも操作できます。

パワーライドドアメインスイッチがOFFのとき

- 助手席側スライドドアの外側ドアハンドルを引
くか、内側ドアハンドルを開方向へ操作して手
動で開きます。

☒ FREED取扱説明書

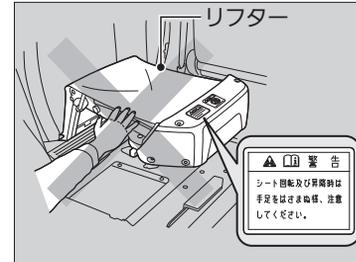


6. 回転昇降スイッチを下に押し続ける。
 - ▶ 「ピー」とブザーが鳴り、回転しながら車外へスライドし、下降します。
 - ▶ 途中でスイッチから手を離せば、その場で停止します。
7. アームレストを上げて、車いすなどに乗り換える。

■シートへの乗り降り

警告

リフター部に乗ったり物を置いたりしない。
シート作動時に、機構部に近づかない。
はさまれたり、巻き込まれたりするおそれがあります。



シートベルト

■ 三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
フロント、リヤシートには三点式シートベルトが装備されています。

チャイルドシート固定装置

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

リヤシート右側席のシートベルトにチャイルドシート固定装置が付いています。
シートベルトで固定するチャイルドシートについての詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

■ 車両限定型 ISOFIX チャイルドシートについて

車両限定型 ISOFIX チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを装備しています。
車両限定型 ISOFIX チャイルドシートについての詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

※ シートベルト



注意

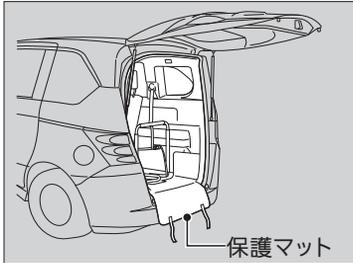
シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。

万一のときにシートベルトの機能が発揮できないおそれがあります。

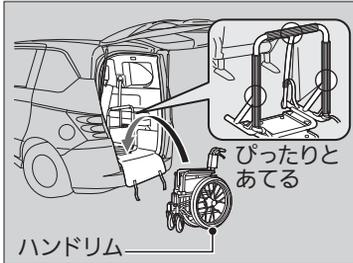
※ チャイルドシート固定装置

回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けしないでください。

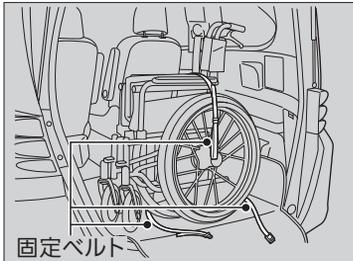
車いすの収納のしかた



1. テールゲートを開ける。
2. 回転昇降シート、リヤシートの背もたれを、一番起こした位置に調節する。
 ◻️回転昇降シートP.3
3. 保護マットを引き出し、バンパーにかぶせる。



4. 車いすを折りたたみ、横向きのにせる。
 ▶ 車いすのブレーキをかけてください。
5. 車いす固定用パイプのラバーの上、左、右の3か所に、車いすのハンドリムぴったりとあてる。
 ▶ 車いすの後輪は車体右側のライニングにあててください。



6. 車いす固定用パイプについている3本の固定ベルトを上、右、左の3か所から手前に出す。

車いすの収納のしかた

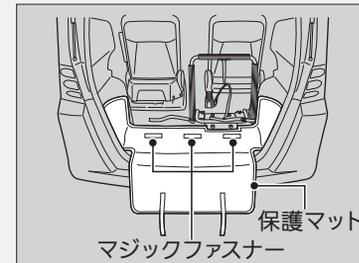
⚠️ 注意

車いすは、必ず車いすのブレーキをかけてから固定用ネットで確実に固定する。

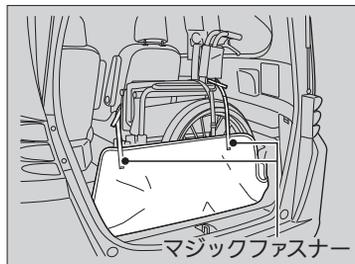
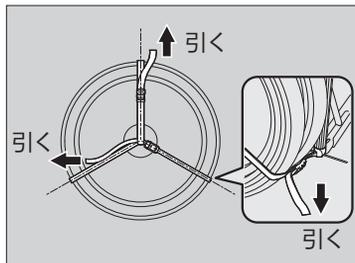
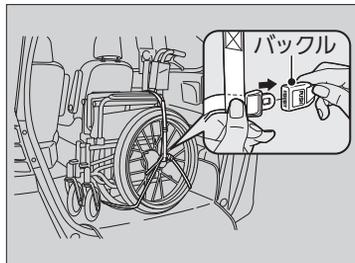
走行中、車いすが不安定になり思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

保護マットは、裏面のマジックファスナーでフロアカーペットに固定します。



車いすは折りたたんだ状態では少し上開きになっています。固定用パイプと並行にあたるようにのせます。



7. 上のベルトの輪の中に左のベルトを通し、右のベルトのバックルにはめこむ。

8. バックルが車輪の中心近くにくるように右ベルトの端を引いて長さを調節する。

9. 車いすを固定パイプの方へ軽く押しつけながら、左ベルトと上ベルトの端を引いてベルトを締める。

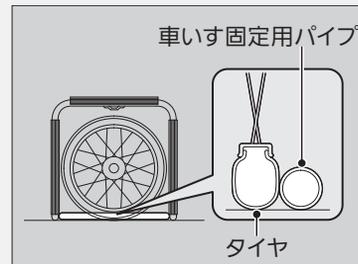
▶ ベルトを締め終わった状態で、ベルトがタイヤをほぼ3等分する位置にあるか確認します。

10. 保護マットを車いすにあてながら、マジックファスナーで車いすに固定する。

▶ 車いすをゆずって、確実に固定されていることを確認します。

■ 車いすの収納のしかた

介護者用車いすの場合は、タイヤを固定用パイプの枠の中にはめます。タイヤの下側はパイプの下部分にぴったりとあてます。



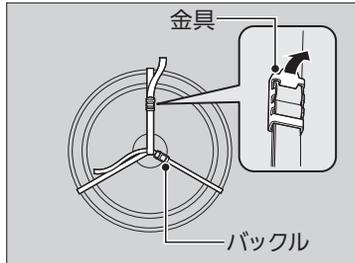
■ 知識

車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節します。

テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないよう注意してください。車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれ、変形する可能性があります。

左右のベルトは最初にお使いになるときに長さを調節すれば、その後は上ベルトの調節だけで車いすを固定できます。

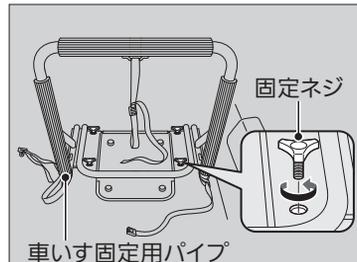
■ 車いすを取り出すとき



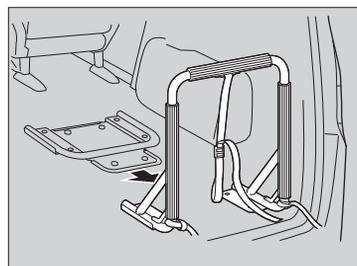
上ベルトについている金具を起こし、ベルトをゆるめ、バックルのボタンを押してベルトを外す。

■ 車いす固定用パイプの取り外し

カーゴスペースに荷物を積むときなどのために、車いす固定用パイプを取り外すことができます。



1. プレート部の固定ネジ (4 個) を取り外す。



2. 車いす固定用パイプを後方に引き出し、取り外す。
3. 取り外した固定ネジ (4 個) を元の位置に軽く締め付けておく。

■ 車いす固定用パイプを取り付けるとき

取り付けるときは、逆の手順で行います。

☒ 車いす固定用パイプの取り外し

⚠ 注意

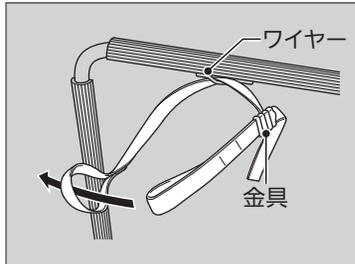
車イス固定用パイプの取り外しかたを誤ると、思わぬ事故につながるおそれがありますので必ずエンジンを止め、パーキングブレーキをかけて行ってください。

☒ 車いす固定用パイプを取り付けるとき

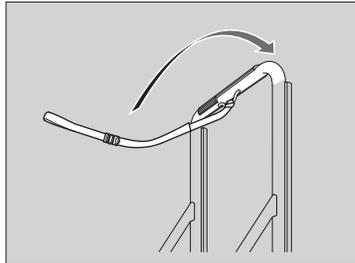
⚠ 注意

固定ネジを確実に締め付ける。固定ネジがゆるむと、固定用パイプが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

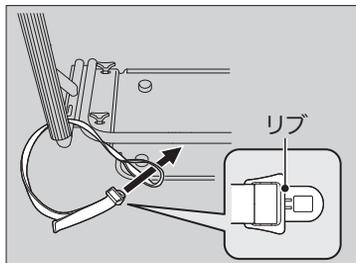
■ 固定ベルトの取り付け



1. パイプ本体とワイヤーの間にベルトを通し、ワイヤーにベルトをしぼりつける。
▶ ベルトの金具が正面を向くように取り付けてください。

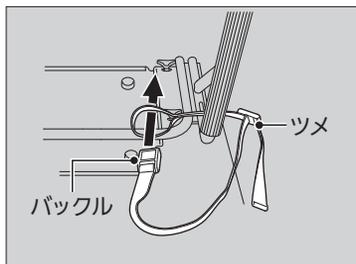


2. しぼった後はパイプの上を回し、下へ垂らす。



3. 左ベルトを図のように取り付ける。

- ▶ タングには表裏があり、裏側にはリブがついています。表側が車両の後ろ側を向くように取り付けてください。



4. 右ベルトを図のように取り付ける。

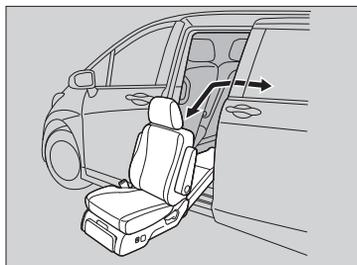
- ▶ 金具のツメを外側に向け、バックルの赤ボタン面が車両の後ろ側から操作できる向きに取り付けてください。

回転昇降シートの点検

回転昇降シートの点検は、日常点検と定期点検があります。日常点検は使用状況に応じ、お客様の判断で適時行ってください。定期点検は、12 か月および 24 か月ごとに Honda 販売店に依頼してください。

■ 日常点検

日常の回転昇降シートの使用状況に応じ、お客様の判断で適時行う点検です。



■ 回転、昇降スピード、異音の点検

シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。

■ 回転昇降シートの点検

回転昇降シートの点検整備方式は、下表の通りです。

点検整備項目	点検時期		
	日常点検	12 か月ごと	24 か月ごと
回転昇降シート部	回転、昇降スピード、異音	○	
	各取付部のゆるみ、がた、損傷		○ ○
	ブザーの作動	○	

アドバイス

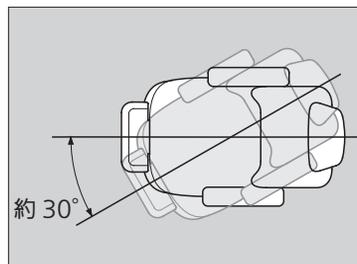
部品の交換は、Honda販売店に依頼してください。

■ ブザーの作動点検

回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。



1. 回転昇降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに「ピーッ」とブザーが鳴ること。



2. シートが回転を開始した直後から約 30° 以下の位置で、回転昇降スイッチから手を離すと、「ピピピッ」とブザーが鳴り続けること。



3. 回転昇降スイッチを上へ引いて、シートが走行位置（格納位置）まで戻ったときに「ピピッ」とブザーが鳴ること。

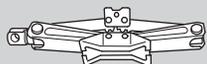
■ ブザーの作動点検

シートを走行位置（格納位置）に戻しても「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるときは、回転昇降スイッチを操作してブザーが止まるまでシートを回転させてから、再び走行位置（格納位置）まで戻してください。それでも「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるときは、Honda販売店で点検を受けてください。

万一の場合には

工具の種類

工具の取り出しかたは、FREED 取扱説明書をご覧ください。



ジャッキ



ジャッキハンドルバー



プライヤー



アイボルト



ドライバー



グリップ



ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)



スパナ (10 × 12mm)

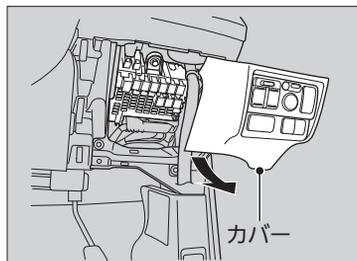


ボックスレンチ

シートが回転、昇降できないとき

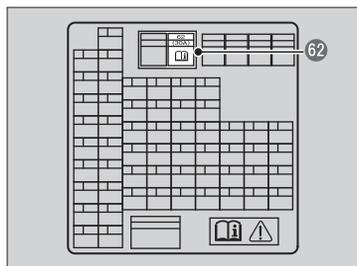
シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、エンジンスイッチを[0]にして、ヒューズが切れていないか確認します。
バッテリーやヒューズの交換は、シートを走行位置（格納位置）にした状態で行ってください。

■ 運転席足元のヒューズ



運転席足元にあります。

カバーを引いて開けてください。



■ ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
62		回転昇降シート	30A

■ 運転席足元のヒューズ

運転席足元に、ヒューズのラベルがあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

ヒューズは同じ規定容量の予備ヒューズと交換してください。

■ アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。同じ規定容量のヒューズがない場合は、規定容量の小さいヒューズに交換してください。

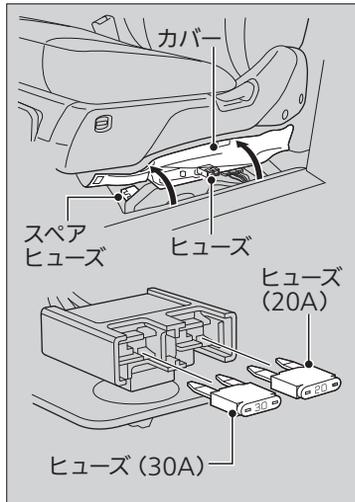
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda販売店で点検を受けてください。

■ 知識

バッテリー交換は、助手席側パワースライドドアを閉めた状態で行ってください。

開けた状態で行くと、回転昇降シートが作動しなくなります。その場合は、いったん助手席側パワースライドドアを閉めてから、再度全開にすると回転昇降シートの機能が復帰します。

■ 回転昇降シートのヒューズ



回転昇降シート左側にあります。

カバーをめくってください。

■ヒューズ規定容量：20A、30A

ヒューズが切れていないのにシートが回転、昇降できないときは、装置の故障が考えられますので、Honda 販売店で点検を受けてください。

■ 回転昇降シートのヒューズ

回転昇降シートのスペアヒューズはシートの左側にあります。

シートが正常に作動しないとき

■ スイッチを押すとシートが動くとき

システムに異常が発生すると、回転昇降スイッチを操作したときに、回転昇降シートが通常とは違う作動をすることがあります。

また、バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、「ピーピーピー」とブザーが鳴り続けます。

その場合は、以下の手順にしたがってスイッチを操作し、回転昇降シートを走行位置（格納位置）まで戻してください。

格納後は、なるべく早く、Honda 販売店で点検を受けてください。



1. フロントシート（助手席）を前方いっぱいに動かす。

▶ フロントシートの調節の詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

2. アームレストを戻し、フットプレートを収納する。



3. 回転昇降スイッチを上を引き続けて、シートが止まるまで上昇させる。

⊠ シートが正常に作動しないとき

⚠ 注意

格納操作を行うときは、回転昇降シートに座らない。

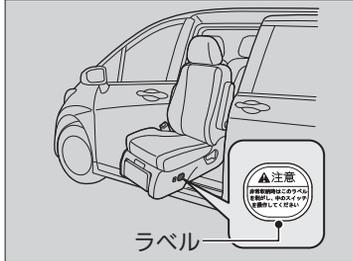
シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。

バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまで回転昇降シートを使用しない。

また、故障などにより格納操作を行ったあとは、Honda 販売店で点検を受けるまで回転昇降シートを使用しないでください。シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。



4. 回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込む。



5. 回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがし、非常用スイッチを確認する。

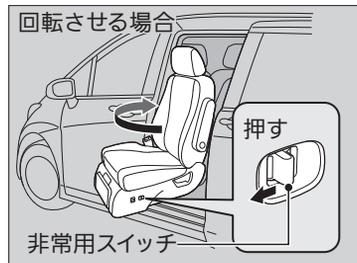
※シートが正常に作動しないとき

知識

復帰操作を行ったあとは、Honda販売店で非常用スイッチ部に新しいラベルを貼り付けてください。

手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、「ピー」とブザーが鳴ります。

シートが走行位置（格納位置）に戻ると「ピピッ」とブザーが鳴ります。



6. シートが接触しないように前後左右を確認しながら、下記のスイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納（後ろに下げる）する。

▶ スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置（格納位置）に戻ります。

非常用スイッチを前側に押す：シートが車内側へ回転

非常用スイッチを後側に押す：シートが後方へスライド

7. フロントシート（助手席）の位置を調節する。フロントシートの調節の詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

※ シートが正常に作動しないとき

知識

復帰操作を行ったあとは、回転昇降スイッチを操作し、シートが正常に作動することを確認してください。

■ スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

装置の故障が考えられますので、Honda 販売店へご連絡ください。
もし、連絡ができない場合は、下記の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。
格納後は、なるべく早く、Honda 販売店で点検を受けてください。

■ シート昇降の途中で動かなくなったとき



1. フロントシート（助手席）を前方いっぱい
に動かす。
フロントシートの調節の詳細は、FREED 取
扱説明書をご覧ください。
2. 運転席足元のヒューズを外す。
■ヒューズの位置 P.20
3. アームレストを戻し、フットプレートを収納
する。

■ スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

シートが回転途中で動かなくなったときや、回
転昇降スイッチを押してもブザーが鳴らず、
シートも動かないときはHonda販売店へご連
絡ください。

⚠ 注意

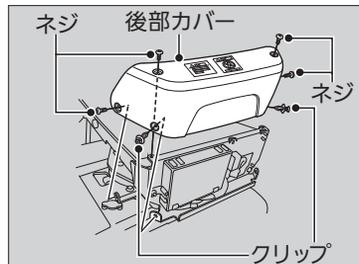
手動で格納操作を行うときは、シートの可
動部分に手をはさまないように十分に注意
する。

回転昇降シート手動格納したときは、回
転昇降シートを使用しない。

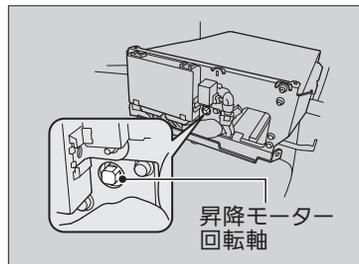
ブレーキをかけたときなどにシートが動き、
思わぬ事故につながるおそれがあります。

回転昇降スイッチを押してもシートが動か
ないときは、Honda 販売店で点検、修
理を受ける。

点検、修理が完了するまでは回転昇降シー
トに座らないでください。ロックが解除
されたままになっている可能性があるため、
走行中にシートが動き思わぬ事故につな
がるおそれがあります。



4. ドライバーでネジ（4本）とクリップ（2個）を外し、回転昇降シートの後部カバーを外す。



5. 回転昇降シート後部にある昇降モーター回転軸の位置を確認する。



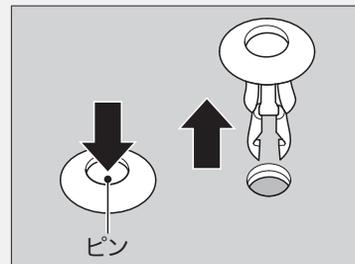
6. ボックスレンチにドライバーを奥まで差し込み、昇降モーター回転軸が回らなくなるまで矢印の方向に回す。

▶ ボックスレンチはゆっくり回してください。

7. 運転席足元のヒューズを取り付ける。

■ スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

クリップのロックを解除するときは、クリップ中央部のピンを「カチッ」と音がするまで軽く（2mm程度）押し込みます。



⚠ 注意

ボックスレンチを使用するときは、レンチが回転軸から外れたり、手をはさまないように十分注意する。



8. 回転昇降スイッチを下に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込む。



9. 回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがし、シートが車体に接触しないように前後左右を確認しながら、下記スイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納（後ろに下げる）する。

- ▶ スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置（格納位置）に戻ります。



非常用スイッチを前側に押す：シートが車内側へ回転

非常用スイッチを後側に押す：シートが後方へスライド

10. フロントシート（助手席）の位置を調節する。フロントシートの調節の詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

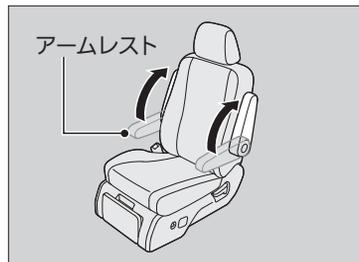
❑ スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

知識

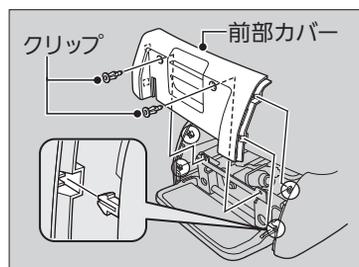
手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、「ピー」とブザーが鳴ります。

シートが走行位置（格納位置）に戻ると「ピピッ」とブザーが鳴ります。

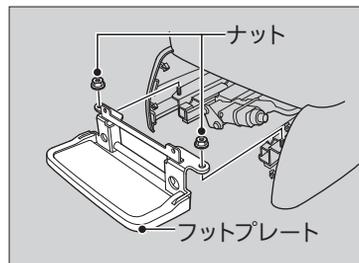
■シートが外スライドの途中で動かなくなったとき



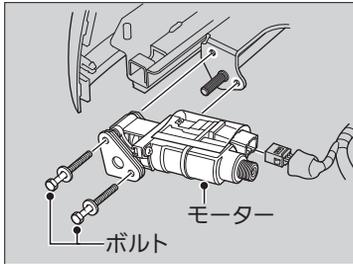
1. フロントシート（助手席）を前方いっぱい
動かす。
フロントシートの調節の詳細は、FREED 取
扱説明書をご覧ください。
2. 運転席足元のヒューズを外す。
❏ヒューズの位置 P.20
3. アームレストを戻す。



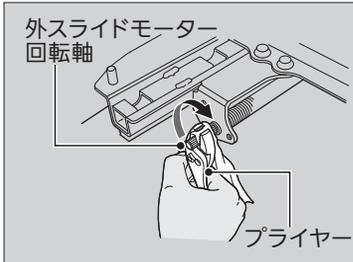
4. クリップ（2個）を外し、回転昇降シートの
前部カバーを外す。
❏クリップの外しかた P.26



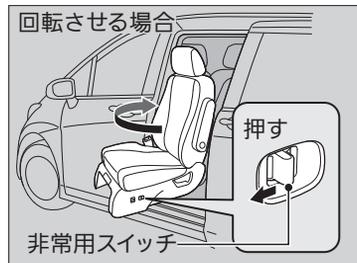
5. スパナ(12mm)でナット(2個)を外し、フッ
トプレートを外す。



6. スパナ(10mm)でボルト(2本)を外し、モーターを抜き取る。



7. 外スライドモーター回転軸が回らなくなるまでプライヤーで矢印の方向に回す。
- ▶ シートが車内へスライドします。
 - ▶ 外スライドモーター回転軸が傷付かないように、回転軸に布などを巻き付けてください。
8. 運転席足元のヒューズを取り付ける。



9. 回転昇降スイッチの横にあるラベルをはがし、シートが車体に接触しないように前後左右を確認しながら、下記スイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納（後ろに下げる）する。

▶ スイッチから手を離すとシートが前方へスライドし、走行位置（格納位置）に戻ります。

非常用スイッチを前側に押す：シートが車内側へ回転

非常用スイッチを後側に押す：シートが後方へスライド

10. フロントシート（助手席）の位置を調節する。フロントシートの調節の詳細は、FREED 取扱説明書をご覧ください。

■シートが回転、前後スライドの途中で動かなくなったとき

Honda 販売店で点検を受けてください。

❖ スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

知識

手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、「ピー」とブザーが鳴ります。

シートが走行位置（格納位置）に戻ると「ピッ」とブザーが鳴ります。

仕様

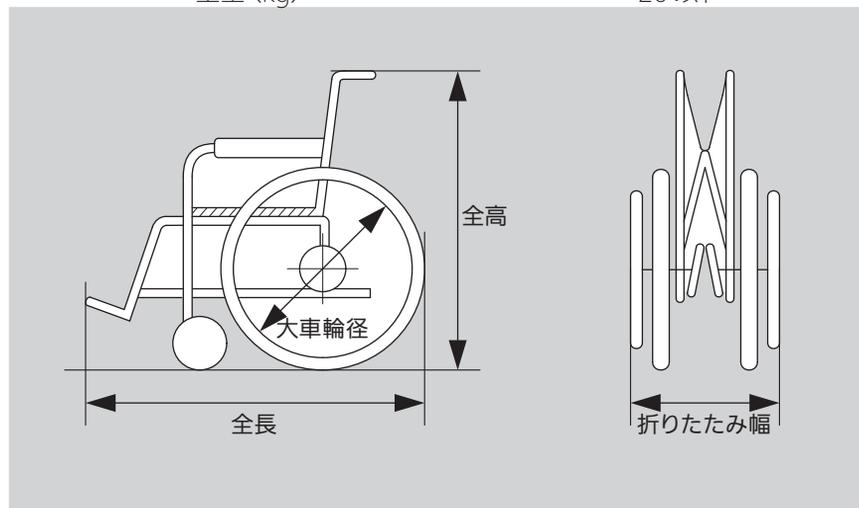
項目	サービスデータ
最大回転昇降能力 (kg)	100
乗車定員	4人

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表の通りです。車いすを購入する際にあらかじめ確認してください。

なお、下表の条件を満たしていても、車いすの形状によっては搭載できない場合があります。

車いすのタイプ	自走式、介護式
大車輪径 (インチ)	24 以下
全高 (mm)	920 以下
全長 (mm)	990 以下
折りたたみ幅 (mm)	320 以下
重量 (kg)	20 以下



お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客 様相談センター
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくた
めに、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、
ご相談ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名



Freed

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

Honda ホーム
ページにある
検索ボックス
に入力してく
ださい。

取説

検索

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30SYYS10
00X30-SYY-S100

©① 60.2009.04.A
©2009 本田技研工業株式会社

サイドリフトアップシート車

